

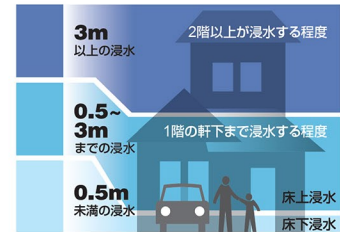
浸水深マップ

にしやまいけ
西山池

このマップは、ため池が決壊した場合にどのような被害となるかを知るために、西山池が決壊し、全ての貯水量が瞬時に流出する状況を想定しています。

この地図では、浸水の深さを示しています。災害の状況によっては、表示されている範囲以外においても、被害が発生する可能性がありますので、注意が必要です。

浸水の深さ



避難経路の安全性

- 特に危険な区域(ため池堤防)
- ひざ上(0.5m以上)が浸水
通行は危険
- ひざ下(0.5m未満)が浸水
通行には注意が必要

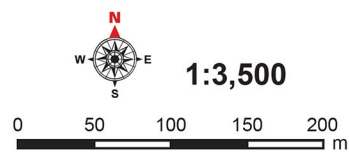
ため池決壊と同時に発生する
おそれがある災害

- 土砂災害(土石流)
-  土砂災害特別警戒区域
-  土砂災害警戒区域
- 土砂災害(急傾斜地の崩壊)
-  土砂災害特別警戒区域
-  土砂災害警戒区域

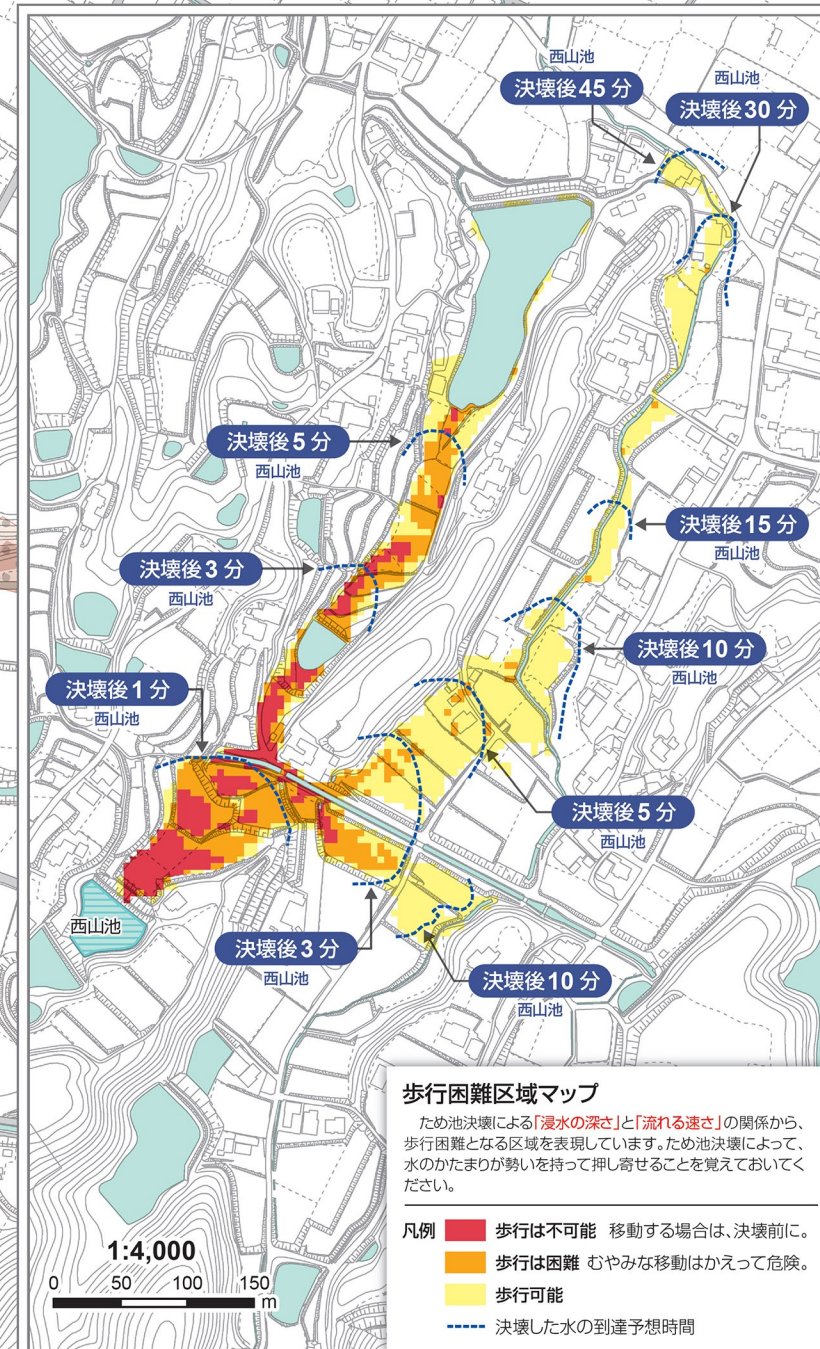
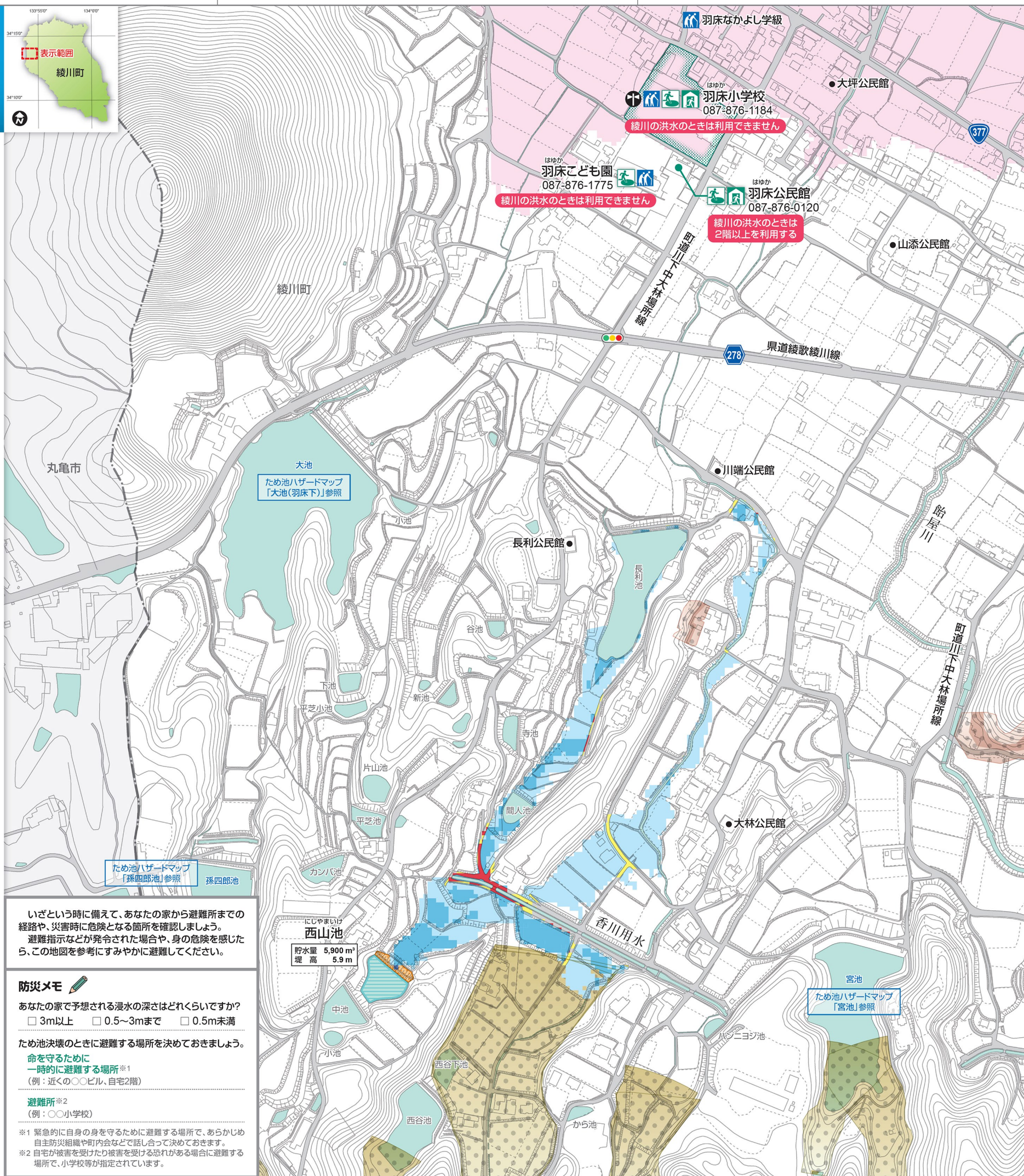
- 綾川洪水浸水想定区域(想定最大規模)
-  浸水が想定される範囲

凡例

-  **指定緊急避難場所**
災害が発生するおそれがある時や災害発生時に、緊急的に避難し、身の安全を確保する場所
 -  **指定避難所**
災害発生時に、被災者が一定期間滞在することができる施設等
 -  **避難所(敷地)**
 -  **要配慮者利用施設**
(洪水浸水想定区域内)
 -  **防災行政無線(スピーカー)**



測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 6JHs 388



歩行困難区域マップ

ため池決壊による「浸水の深さ」と「流れる速さ」の関係から、歩行困難となる区域を表現しています。ため池決壊によって、水のかたまりが勢いを持って押し寄せることを覚えておいてください。

- 凡例
- | | | |
|---|--------|----------------|
|  | 歩行は不可能 | 移動する場合は、決壊前に。 |
|  | 歩行は困難 | むやみな移動はかえって危険。 |
|  | 歩行可能 | |
- 決壊した水の到達予想時間



ため池ハザードマップ【保存版】

にしやまいけ
西山池

RESERVOIR HAZARD MAP



● 西山池が決壊し、
全ての貯水量が瞬時に流出する状況を
想定しています。

● 浸水の深さによって、避難方法は異なります。

- 浸水しない場所（避難所、道路、空き地など）
- 自宅の2階、危険のない近くの高い建物
- 自宅にとどまる

● いざという時の連絡先（TEL）

綾川町	防災担当	087-876-1906
警察	事件・事故の通報	110（局番なし）
消防	火事・救助・救急	119（局番なし）
災害用伝言ダイヤル 災害時の安否確認 171（局番なし）		

● 防災情報メール（登録無料）

<https://www.pref.kagawa.lg.jp/kikikanri/sogo/bosaijoho/main.html>

避難指示などの情報が、登録しておくだけで携帯電話のメール等へ自動的に配信されるサービスです。
これまでの「避難情報配信サービス」をリニューアルし、平成26年4月から「防災情報メール」の配信を始めました。避難情報配信サービスをご利用になられていた方も、改めて登録が必要です。

綾川町

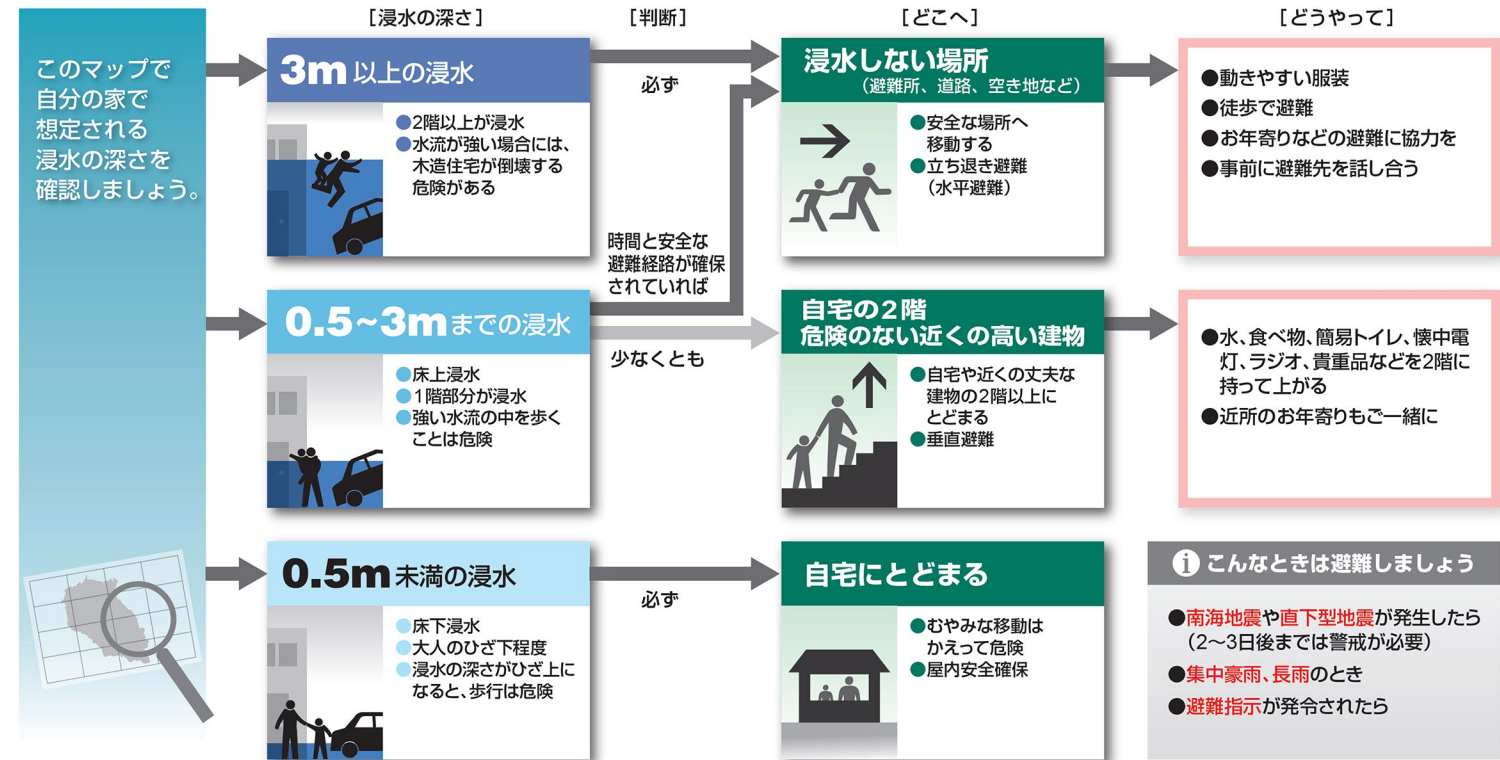
作成／令和7年2月 綾川町 経済課
〒761-2392 香川県綾歌郡綾川町薄宮 299 番地

状況に応じた^{ひなん}避難をしよう



▶ため池決壊による**浸水の深さ**を想定した避難の流れ
命を守るための基本行動

想定される浸水の深さによって、避難方法は異なります。いざというときに、どのように行動するのか、家族や地域で確認しましょう。



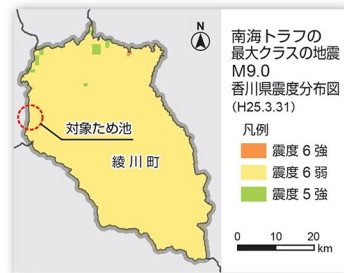
ため池**決壊**について知ろう



▶ため池決壊の原因（地震と大雨）

地震

本マップの対象ため池周辺では、南海トラフの最大クラスの地震によって震度6弱の揺れが予測されています。
また、地震列島である日本では、どこにおいても直下型地震が発生する可能性があります。



大雨

集中豪雨や長雨によって、ため池の水位が上昇することで、ため池決壊のおそれがあります。

▶ため池決壊の起こり方と、その被害

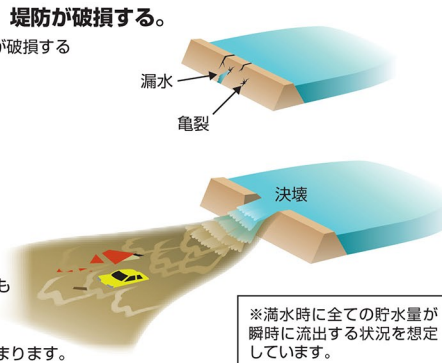
①南海地震や直下型地震で、堤防が破損する。

（地震同様に、大雨の際にも堤防が破損するおそれがあります。）

②破損した堤防が、貯水に耐え切れず「決壊」

③ため池決壊による被害

- 大量の水や土砂が濁流となって、瞬時に押し寄せます。
- 山津波、内陸部における津波とも呼ばれています。
- 建物や車は押し流されます。
- 道路や住宅地、田畑は土砂に埋まります。



※満水時に全ての貯水量が瞬時に流出する状況を想定しています。

④災害事例

写真出典：Yahoo! JAPAN 東日本大震災 写真保存プロジェクト <http://archive.shinsai.yahoo.co.jp>

地震 — 福島県須賀川市 —

東北地方太平洋沖地震（平成23年3月11日）による震度6弱の揺れで、藤沼湖が決壊し、死者・行方不明者8名を出す被害となりました。

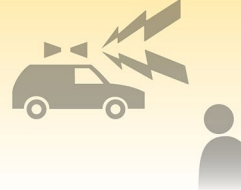
- 長時間の強い揺れによって、地震直後に決壊。
- 田植え前で満水状態であった貯水が、全て流出した。
- 下流の集落に濁流となって押し寄せた。

堤防（約130m）がほぼ全域で決壊した。

大雨 — 香川県 —

近年、香川県では大規模ため池の決壊による被害は出ていませんが、未改修の中小規模のため池を中心に、堤防に亀裂が入るなどの被害が出ています。

町からの呼びかけ（避難情報）に注意しよう



▶土砂災害や洪水時には、**警戒レベル**に応じて避難しましょう

警戒レベル5では、すでに災害が発生している状況です。

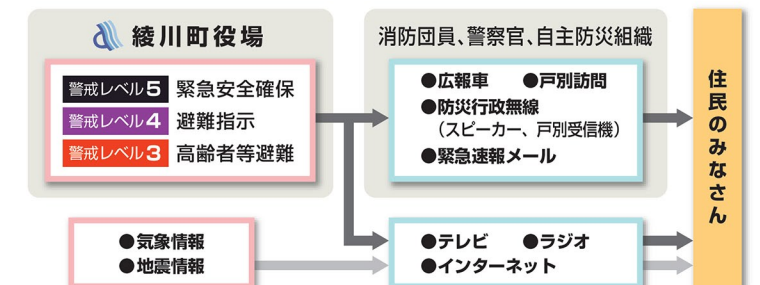
警戒レベル3や警戒レベル4の段階で、声をかけあって避難しましょう。

警戒レベル	状況	住民がとるべき行動	行動を促す情報
高	5 災害発生または切迫	命の危険 直ちに安全確保！	緊急安全確保
~~~~~ 警戒レベル4までに必ず避難！ ~~~~~			
危険度	4 災害のおそれ高い	危険な場所から 全員避難	避難指示
	3 災害のおそれあり	危険な場所から 高齢者等は避難	高齢者等避難
	2 気象状況の悪化	自らの避難行動を確認	大雨・洪水注意報（気象庁）
低	1 今後気象悪化のおそれ	災害への心構えを高める	早期注意情報（気象庁）

・警戒レベル5は、市町村が災害の状況を確実に把握できるものではない等の理由から、必ず発令されるとは限りません。  
・警戒レベル3は、高齢者等以外の人にも必要に応じ、普段の行動を見合わせ始めたり、危険を感じたら自主的に避難するタイミングです。

▶避難情報の伝達経路

避難情報は下図のような経路で住民のみなさんに伝達されます。なお、避難情報には、緊急度に応じて発令されます。



⑤あらかじめ非常持出品を準備しましょう

